

総説（雑誌）

● 平成18年度 (2006.4~2007.3) ●

- 1) 特殊検査 遺伝子診断と注意点 大薗恵一

ホルモンと臨床、臨床に役立つ内分泌疾患診療マニュアル2006, 54 (増刊号) : 355-358, 2006.

- 2) 骨代謝におけるWntシグナル伝達経路 (Wnt／LRPシグナルの骨代謝に対する役割について) 窪

田拓生, 大薗恵一

THE BONE, 20 (3) : 49-54, 2006.

- 3) 副甲状腺機能低下症 Albright遺伝性骨異栄養症 北岡太一, 大薗恵一

別冊 日本臨床 新領域別症候群シリーズNo.2 : 61-65, 2006.

- 4) 指極を測ろう 大薗恵一

Medical Practice, 9 (23) : 1636, 2006.

- 5) ビタミンD研究の新展開 道上敏美※, 大薗恵一

蛋白質核酸酵素, 51 (13) : 1836-1846, 2006.

- 6) ビタミンD中毒 (サルコイドーシスほか) 難波範行, 大薗恵一

内分泌・糖尿病科, 23 (Suppl 3) : 257-262, 2006.

- 7) 何故、骨は伸びるのか 大薗恵一

日本成長学会雑誌, 12 (2) : 51-56, 2006.

- 8) 小児疾患の診断治療基準 第3版：成長障害 三善陽子, 大薗恵一

小児内科, 38 (増刊号) : 32-34, 2006.

- 9) 異所性GH産生腫瘍 川井正信, 大薗恵一

日本臨床, 28 : 303-305, 2006.

- 10) McCune-Albright症候群 山本威久※, 大薗恵一

内分泌・糖尿病科, 23 (Suppl 3) : 347-354, 2006.

- 11) Molecular bases of diseases characterized by hypophosphatemia and phosphaturia : New understandings.

Ozono K, Michigami T※, Namba N, Nakajima S, Yamamoto T※

Clin Pediatr Endocrinol, 15 (4) : 129-135, 2006.

- 12) 小児の治療指針：B型肝炎 惠谷ゆり

小児科診療, 69 (増刊号) : 614-617, 2006.

- 13) 小児の治療指針：肛門周囲膿瘍，痔瘻 中長摩利子，虫明聰太郎
小児科診療，69（増刊号）：664-665, 2006.
- 14) 小児疾患の診断治療基準 第3版：脾腫瘍・脾囊胞 虫明聰太郎
小児内科，38（増刊号）：436-437, 2006.
- 15) 小児疾患の診断治療基準 第3版：劇症肝炎，急性肝不全 惠谷ゆり
小児内科，38（増刊号）：408-409, 2006.
- 16) 負荷試験の実際 — 2006年版：ビタミンB12吸収試験 惠谷ゆり
小児内科，38（8）：1362-1364, 2006.
- 17) 特集：周産期の病理：胎児・新生児の肝病理 虫明聰太郎
病理と臨床，25（1）：55-61, 2007.
- 18) 特集：小児の胃炎，消化性潰瘍，*Helicobacter pylori*感染症：胃炎・消化性潰瘍の治療および予防
虫明聰太郎
小児内科，39（3）：442-444, 2007.
- 19) 新生児研修で最低限学ぶことは何か？ 和田和子
臨床研修プラクティス，4（3）：84-87, 2007.
- 20) サイトメガロウイルス感染症 和田和子
周産期医学，36：547-548, 2006.
- 21) 責任遺伝子の特定された副甲状腺機能低下症GCMB遺伝子異常 難波範行
ホルモンと臨床，54：15-20, 2006.
- 22) 先天代謝異常 ムコ多糖症 酒井規夫
小児内科，38（増刊号）：169-170, 2006.
- 23) 日常診療での先天性代謝異常症 神経症状で見つかる先天代謝異常症 酒井規夫
小児科診療，69（11）：1579-1583, 2006.
- 24) ロイコジストロフィー（副腎白質ジストロフィー，異染性白質ジストロフィー，Krabbe病など） 酒井規夫
小児科診療，69（増刊号）：553-555, 2006.
- 25) 睡眠と脳機能 裏出良博※，毛利育子
脳と発達，38：331-333, 2006.
- 26) 思春期から青年期発症のてんかん 沖永剛志，永井利三郎
小児科診療，70（1）：111-117, 2007.
- 27) 小児期てんかんに対する新抗てんかん薬 下野九理子，永井利三郎
臨床精神薬理，10（4）：573-580, 2007.